

平成17年度中央畜産技術研修会（飼料）実施内容

- 1 開催期日： 平成17年7月19日（火）～22日（金）
- 2 開催場所： 独立行政法人 家畜改良センター 中央畜産研修施設
- 3 受講対象者： 都道府県、地方農政局、北海道農政事務所、北海道開発局、沖縄総合事務局、市町村、畜産関係団体の畜産関係職員及び独立行政法人家畜改良センターの技術職員並びに上記以外の国、独立行政法人の畜産関係職員
- 4 受講者数： 41名（聴講生を含む）

5 講義日程

月 日	時 間	講 義 名： 講 師 所 属 氏 名
7月19日 (火)	13:15 ～13:30	開講式
	13:30 ～15:00	流通飼料をめぐる現状と課題 生産局 畜産振興課 需給班 課長補佐 井戸 将悟
	15:15 ～16:45	飼料（原料）輸入の現状と課題 飼料輸出入協議会 専務理事 江藤 隆司
7月20日 (水)	9:00 ～12:00	飼料給与と栄養 日本大学生物資源科学部動物資源科学科 教授 阿部 亮
	13:15 ～16:30	給与飼料と家畜への影響 独立行政法人農業・生物系特定産業技術研究機構畜産草地研究所 家畜生理栄養部 反すう家畜代謝研究室長 永西 修
7月21日 (木)	9:00 ～10:30	高付加価値畜産物の生産と飼料 日本農産工業（株）研究開発センター 飼料畜産グループリーダー 次長 伊藤 博史
	10:45 ～12:15	高付加価値畜産物の生産と飼料 日清丸紅飼料（株）品質管理・開発部副部長 本藺 幸広
	13:15 ～14:45	飼料の安全性確保について 消費・安全局衛生管理課 薬事・飼料安全室 飼料安全専門官 江上 智一
	15:00 ～16:30	食品残さの飼料利用について 独立行政法人農業・生物系特定産業技術研究機構畜産草地研究所 家畜生産管理部 飼料評価研究室長 川島 知之
7月22日 (金)	9:00 ～12:00	流通飼料、添加物の安全性と品質保持 独立行政法人肥飼料検査所 飼料鑑定第一課長 石黒 瑛一
	12:00 ～12:15	閉講式

平成17年度中央畜産技術研修会
 (時事問題Ⅱ (食品残さの飼料化(エコフィード))) 実施内容

- 1 開催期日： 平成17年9月26日(月)～28日(水)
- 2 開催場所：独立行政法人 家畜改良センター中央畜産研修施設
- 3 受講対象者： 都道府県、地方農政局、北海道農政事務所、北海道開発局、沖縄総合事務局、市町村、畜産関係団体の畜産関係職員、独立行政法人家畜改良センター技術職員、上記以外の国及び独立行政法人の畜産関係職員
- 4 受講者数： 49名(聴講生を含む)

5 講義日程

月 日	時 間	講 義 名 : 講 師 所 属 氏 名
9月26日 (月)	13:15 ～13:30	開講式
	13:30 ～14:50	食品残さ利用を取り巻く課題と推進方策 生産局畜産振興課 需給班 需給係 今井 聡
	15:05 ～16:45	食品残さ飼料化の基本(概念、定義、資源の種類特性、進める手順、必要な許可届出類、養豚農家の実態や今後の意向) (社) 配合飼料供給安定機構備蓄部長兼調査・エコフィード担当 松田 一郎
9月27日 (火)	9:00 ～10:20	関係制度(食品リサイクル法、廃掃法、予算、融資、税制など) 総合食料局食品産業企画課 食品リサイクル班課長補佐 島津 久樹
	10:35 ～12:15	飼料の安全性確保(飼料安全法に基づく飼料安全基準、リスク管理、主要な有害物質など) 消費・安全局衛生管理課 飼料安全基準班 課長補佐 元村 聡
	13:15 ～14:45	飼料化技術(1)(飼料評価概論、栄養特性、牛への給与) 日本大学生物資源科学部 動物資源科学科助手 佐伯 真魚
	15:00 ～16:30	飼料化技術(2)(加工処理技術、豚への給与、先進事例) 独立行政法人農業・生物系特定産業技術研究機構畜産草地研究所 家畜生産管理部 飼料評価研究室長 川島 知之
9月28日 (水)	9:00～ 10:20	オルガナイザーの果たす役割(食品残さ排出者、飼料化加工者、養豚農家との連携) 神奈川県畜産技術センター普及指導部 技幹 堀 与志美
	10:35 ～12:15	食品残さ利用の養豚農場実践事例 (有) ブライトピック千葉 取締役 生産本部長 石井 俊裕
	12:15 ～12:30	閉講式